

特長.1

ジム・エース《スーパーG》による 運動性能の向上

あらゆるスポーツ・イベントの安全性と快適性を追求したフロア・システム

近年、スポーツ人口の急激な増加と競技の多様化とともに、それに対応するスポーツ・フロアが望まれ、その必要性が重視されています。近年のアリーナは、各種スポーツ競技のほか、コンサートや展示会などスポーツ・イベント以外にも幅広く使用され、従来のスポーツを重視したフロアの機能から、一歩進んだ多目的フロアとしても併用できるフロアへと要求が変化しています。

このため、本来のスポーツ床として、競技者の安全性と運動のしやすさと同時に、何トンもの荷重に耐えられるイベント会場と

しての使用も考慮した、高耐荷重構造の床工法が必要となってまいります。

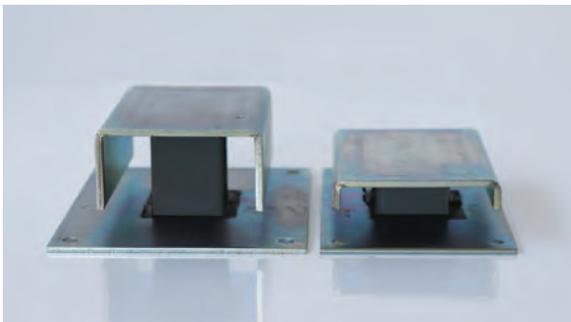
ジム・エース《スーパーG》は、運動競技者の安全性を重視した性能をクリアするとともに、高耐荷重構造の床システムであり、今までにない両性能をかね備えた、強固で安全性に優れたシステムとして注目を集めています。

運動競技（スポーツ・イベント）で床に要求される性能の中で、一番重要な性能は安全性と快適性です。近年、各種イベントが行えるアリーナの建設が話題になっています。そこで問題になるのは、イベント時の荷重条件を考えた場合、緩衝材1カ所に加わる静荷重が大変大きなものとなり、十分な緩衝作用が働か

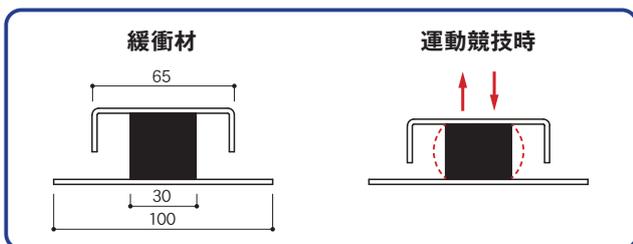
なくなることです。このため、安全性・快適性の性能が悪くなります。

ジム・エース《スーパーG》は、この問題を解決するために、1カ所に加わる静荷重を分散し、床面で均一的に受けることにより、均一した床の硬さ、弾力性を発揮できる工法を開発しました。床面の安全性と快適性を追求した結果、デッキプレートを根太とし、デッキプレートの底面と大引の間に保護装置付緩衝材を取り付けることにより、従来荷重を支持脚上部で受けていたものを、面で受けることで1カ所に加わる荷重を低減することが可能になりました。

この工法によりジム・エース《スーパーG》は、スポーツ・イベント時での安全性・快適性の性能を十分満足させることに成功しました。さらに、種々の荷重条件により緩衝材の形状、硬さ等を変えることで均一な安全性・快適性の性能を維持できます。



○ジム・エース《スーパー G》の弾力性



高耐荷重用の床は、使用部材の強度・重量が大きくなることから、緩衝材を支持脚と大引の間に設置する従来の工法では、十分な緩衝性能を確保することが困難となります。

ジム・エース《スーパーG》は、デッキプレートと大引の間の保護装置付緩衝材により、荷重を面で受け分散させ、どのポイントでも弾力性値（Y）、緩衝効果値（U）のバラツキを小さくし、高い振動の減衰性を保ち、常に均一な安全性・快適性を発揮する工法です。

